

総合防災訓練 (R05) 実施後の課題等

番号	問題点	回答	R06訓練等対応状況
1	・各班別の打合せにあたり事前に「避難所運営の流れ」と「資機材チェック」を作成し、その資料をもとに協議をしたのでスムーズに決定し問題なく開設できた。	・来年度においても、「避難所運営の流れ」及び「資機材チェック」を作成し協議します。	・今年度は、昨年度の資料に訓練状況の写真入れて作成し、訓練の全体イメージを共有しながら各班の事前打合せを行いました。
2	・中学生も積極的に開設の準備を手伝ってくれ、今後も一緒に訓練をすることが大切だと思う。	・今回初めて中学生ボランティアの参加があり、被災時にも中高生が動くことは大切だと理解しましたので、次回は最初の協議段階から関係者に参加してもらいたいと考えています。	・今年度の訓練では、重信中学校の生徒にご協力いただく事ができました。学校関係者には訓練検討段階から、中学生の参加を打診しております。今後も継続して参加をお願いしたいと考えています。
3	・テント設営訓練開始前まで避難者がする事がなく手持無沙汰だったので避難の心得みたいなビデオを流すとか消防職員の講習とかあると時間を有効に活用出来ると思う。	・昨年のご意見を受け、小学生の活動や、ドローンの開設など新たに取入れましたが、避難者の数に対して満足する内容ではなかったと思いますので、来年はもう少し新たな内容を検討します。	・今回は、愛媛県薬剤師会の協力を得て災害時のお薬相談窓口を開設しましたが、ブースに気付いていない方もいましたのでアナウンス等、周知の方法を工夫します。
4	・避難食の試食を準備ができた分から開始したのはとてもいい判断だったと思う。	・準備ができた分から開始したのは食料物資班の判断です。他にも高評価をいただいているので、次回から協議段階で提案したいと思います。	・昨年の成果を基に、防災食を作るペース配分は食料物資班の判断で行ってもらいました。全体の訓練が想定より早く進行しましたが、柔軟に対応していただくことが出来ました。
5	・避難者カードの受付番号の振分けが十分でなかった。（受付にボランティアの方が入ってくれたことで受付記入方法が伝わっていなかった。）・・・受付簿と避難者カードの紐付けにナンバリング（A001～A002・A003・A004）するように打合せではしていた。	・中学生ボランティアについては急遽参加しにくだったため、十分な打合せができない状況でしたが、かなりの戦力になったと思っていますので、次回からはきちんと打合せを行いたいと思います。また、事後の確認になりますが、受付簿と避難者カードの突合を行いましたが特段の問題はありませんでした。	・事前の打ち合わせで、集計しやすいナンバリングを検討した結果、受付簿と避難者カードの突合がスムーズに行う事が出来ました。
6	・避難者が一斉に受付に集中してきたので、渋滞、混雑しないように整理、誘導する者を配置すべきだった。	・来年度の訓練では、事前打ち合わせの時点でその旨を伝えて対応を検討してもらいます。	・今回も事前の打ち合わせで、検討していただきましたが、今回も混雑しましたので来年度の訓練で再度検討いたします。
7	・ペット同伴者の受付場所が、体育館入り口北側に変更になったことを、管理班全体に伝わっていなかった。伝達不足。	・事前協議と当日の状況が違うことは今後も想定されますので、連絡体制の確立を目指します。	・事前協議の段階で、ペット同伴者の受付、飼育場を当初の配置場所から移動することも考慮し、連絡体制の検討まで行うことが出来ました。
8	・地区外の避難者の受付を用意していなかった。	・今後の訓練においても地区外の方が見学等に見えられることは想定されるため、次回の協議で提案します。	・地区外の方の受付を開設し、受付を行う事が出来ました。
9	・受付を済ませて、避難してきた人の待合せ場所のスペースが狭い。（南方東区の人72人に対して、前松瀬川区0人）	・今回避難スペースを地区で区分していましたが、当日の状況で臨機応変対応していただければと思います。	・地区により、避難スペースの調整を行いました。
10	・アンケート用紙を受付で配布するのはよかったが、回収の方法に問題あり。	・訓練内容の充実を図るため、アンケートは継続して実施したいと考えますので、来年度の訓練では当初協議の段階できちんと協議したいと思います。	・アンケート用紙の回収箱を出入口に設け、訓練終了後に回収する方法としました。
11	・最新情報、受付情報、行政からのお知らせ（別に被害情報）、避難所の生活情報（別に生活情報）、避難所運営の組織図、支援情報、避難所のルール（別に避難所）、炊き出し献立表、伝言板、安否情報（松山市八坂小学校のマニュアルを参照）以上のタイトルを前もって作成して置くと、参集時の対応が落ち着いて書けるのではないのでしょうか？→市が前もって準備している。隣市のため情報交換してはどうか。	・指定避難所に設置している防災倉庫に避難所開設ケース内に準備します。	・今後も避難所開設ケースの充実にも努めます。
12	・「シェイクアウト」の言葉がわかりにくい。もっと老人にも分かる言葉にして欲しい。	・全国的に統一された言葉になります。言葉になれていただくよう周知に努めます。	・「シェイクアウト訓練」の実施等、市ホームページ、広報誌に掲載しました。今後も周知に努めます。
13	・避難所の掲示板スペースをもっと確保してほしい。（段ボール板を活用ボードとして）	・避難所スペースにもありますが本部と相談して臨機応変対応していただいたのでかまいません。	・今回の訓練では、ホワイトボードを活用しました。
14	・各地区（奥松瀬川集会所等）に避難所開設備品（準備品）を置いて欲しい。	・奥松瀬川公民館にある自主防災組織防災倉庫に避難所開設ケースを配置しています。	－
15	・想定付与に対して、班員の方ならび市職員の相談により掲示方法が決まり良かった。	・避難訓練時、班によっては想定訓練を行うことが有効であると思いますので、今後も実施します。	・情報広報班では、想定付与を行い訓練を行う事ができました。
16	・「三人よれば文殊の知恵」人は助け合って生きる、生かされる。これからも訓練をかさねて防災意識を広げて欲しいです。今回の訓練に携わった皆様に感謝申し上げます。	・今回の経験をもとに、各地区において自主防災組織による集会所での避難所開設訓練を実施していただければ、合同での訓練時にもっとスムーズになると思います。また、市として自助共助公助について周知していきたいと思います。	・各自主防災組織において集会所等を利用した避難所開設訓練の実施をお願いします。
17	・ナイロン手袋が小さい（L）またはフリーサイズが欲しい。	・申し訳ございませんでした。次回から複数のサイズを用意します。	・ナイロン手袋は複数のサイズを準備しました。
18	・台拭きがないので不便（キッチンタオル）を使用	・衛生面を考慮して洗い置きを想定していませんので、キッチンタオル若しくはウェットタオル等をご使用ください。	－
19	・やかんのサイズが小さい（使用中にすぐなくなる）度々沸かす。	・やけど等の防止のため家庭用のやかんを備蓄していますが、若干大きいサイズについても備蓄を検討します。	・使用用途に合わせてやかんのサイズを検討します。
20	・ウォーターバックの注ぎ口が小さい。	・持ち運び等を考慮してこのタイプを購入しています。他製品にする予定はないため、入れやすい方法を検討します。	・今回の訓練では特に問題になりませんでした。が、入れやすい方法については引続き検討します。

総合防災訓練(R05)実施後の課題等

番号	問題点	回答	R06訓練等対応状況
21	・お湯の注入時間確認のためタイマー等が必要（順次完了時間確認）	・来年度の訓練時に自主防災組織と協議したいと思います。	・スマートフォンを使用して時間確認しました。
22	・メモ帳、ペンにて確認及び伝言に使用すると良いと思う。	・来年度の訓練時に自主防災組織と協議したいと思います。	・今回の訓練では使用しませんでした。
23	・作業台がきたないので汚れ防止（不燃材シート）対策、衛生面も考える。	・訓練終了後の片付けのことも考慮するとシートがあると楽になる部分もありますので検討します。	・今回、シートは使用しませんでした。
24	・炊き出しの机を多くして作業性を良くした。（全員が作業できるスペース）	・作業スペースを確保できる場所なら一番効率が良い対応と思われます。今後も臨機応変対応していただければと思います。	・今回の訓練でも、臨機応変に対応していただきました。
25	・保存食の中にあるシリカゲルが取りにくい。	・どのメーカーも同じような製品なので対応は難しいと思われますが、一応購入業者にはその旨伝えておきます。	・購入業者にその旨伝えました。
26	・おにぎり水位確認のシールが剥がしにくい。	・どのメーカーも同じような製品なので対応は難しいと思われますが、一応購入業者にはその旨伝えておきます。	・購入業者にその旨伝えました。
27	・おにぎり、ご飯の量が少し少ない。	・おにぎりは少食の方への対策として購入しています。今後は配布場所で表記するなど対応を図ります。	・これまで購入した防災食は量が多いとの意見がありましたので、量を減らした防災食を購入しています。
28	・テント張り（2張り）晴天無風のため使用せず。	・今後も臨機応変対応したので良いと思います。ただ、使用していない旨の報告を本部にお願いします。	・今回も状況に応じて、テントの使用を判断しました。
29	・風防は、対策コンロのため使用せず。	・風対応のコンロを購入していますので、基本的に風防は不要と考えていますが、来年度も協議を行い、自主防災組織に判断してもらいます。	・昨年より参加人数が増えたので、炊出し用の釜を使用しました。
30	・椅子は立ち仕事のため使用せず。	・休憩等のために一応今後も用意したいと思います。	・今回も椅子の準備をしています。
31	・バケツは使用せず。	・来年度も協議を行い、自主防災組織に判断してもらいます。	・自主防災組織の判断で使用しました。
32	・炊き出し時のヘルメット着用は不要（防災時は必要）	・班内で協議して臨機応変対応したので良いと思いますが、災害想定訓練であることは申し添えます。ただし、衛生面を考慮してヘルメットでなく、使い捨てキャップなどで抜け毛を防ぐ対策もあると思います。	・ヘルメット、キャップの使用については、食料班の判断で使用するかどうかを決めて活動していただきました。
33	・自主防災会が主体で避難所を運営するためには、訓練経験者を増やす必要があることから、何回も訓練を実施する必要がある。	・総合防災訓練は重信地区、川内地区を交互に実施しています。また、各地区において小学校単位で順番に実施しているため数年に1度の訓練となります。 そこで、市においては自主防災組織単位で避難訓練ができるよう「自主防災組織活動マニュアル」を作成しています。マニュアルを参考に地域で避難訓練を行ってください。	－
34	・市長のあいさつで訓練が止まってしまうので市長が訓練の終わりまで会場にいるのなら、挨拶は最後でよいのではないか。また、避難所開設訓練が終わる9時30分に挨拶をした方がよいのではないか。	・市長のあいさつのタイミングについては、市長のその日の行事予定等を考慮してあいさつする時間帯を検討します。	・訓練の最後に、市長あいさつを行いました。
35	・副会長が2名いるので、活動班の半分ずつを担当してフォローする方が円滑に班活動でき、報告もスムーズになるのではないか。	・来年度の訓練で試してみます。	・副会長に、各班の状況確認をしていただきました。
36	・今回の避難所設置・運営訓練は【初動期】の避難所設置運営である限り、現実に近い場面想定で実施すべきである。訓練計画立案者は避難所設置運営訓練をうまく乗りきるためだと善意に解釈しても、避難所運営委員会の構成と各班の協力者の配置が整った名簿が出てくるのはおかしい。（説明があればいい）	・来年度から最初の説明会において説明します。	・会長以下、各班員の方には事前説明会で説明し訓練を行いました。
37	・第1回、第2回東温市総合防災訓練説明会（自主防災組織責任者）において、運営本部・各班長の人選をしたのであろうがそれについて異論はない。【初動期】の運営委員会立ち上げ発声は市職員、施設管理者が行うのが現実で必要最小限の班構成から順次マニュアルに沿った構成に展開させるのが【初動期】の避難所立ち上げ方法であると個人的には理解している、この辺りは本部役員、班長は理解しているのか、とても理解しているとは思われない。	・災害時、市職員は一旦市役所に集合してから被災状況を確認して指定避難所に向かうため、大きな災害時には市民が指定避難所に先に行くことが想定されるため、今回の様な対応での訓練を行っています。その場合、一番問題となる体育館（指定避難所）の鍵について、現在検討中です。自主防災組織が被災時に避難できる体制を構築したいと思います。	・令和4年度から、市民が自ら避難所を立ち上げ運営する事に主眼を置いた訓練としています。今後回数を重ねていく事で、避難所運営にかかわる、本部役員、班長の理解が深まると考えています。
38	・班長はできれば事前に避難所開設訓練（HUG）くらいは研修を受けるべきである。	・来年度も協議を行い、自主防災組織に判断してもらいます。	・各班長の判断により、資料の必要な班には資料を配布しました。
39	・【第1回担当者説明会8/29】冒頭で避難所運営委員会の委員決定の経緯を説明すべきであり、全く説明はなく初めから【初動期】の避難所運営委員会の人選が決定していること自体現実味がなく【初動期】の訓練に立ち返るべきだ。 本来、【第1回担当者説明会8/29】席上で多少時間はかかるけれども各班の協力者の割り振りは、個人の希望・経験を考慮して各班に割り付けるべきだ、ただ事前に有志への声掛けは良いが自動的な割り付けは反対である。従って協力者の氏名は【第1回担当者説明会8/29】以降に出るものである。	・来年度事前協議において協議した結果により対応します。	・事前協議により、各自主防災組織から個人の希望により班員を募集して割り振りを行いました。

総合防災訓練 (R05) 実施後の課題等

番号	問題点	回答	R06訓練等対応状況
40	・【初動期】の各班のやるべき役割、項目は第1回第2回東温市総合防災訓練説明会において最低限度決まっているはずだ、【第1回担当者説明会8/29】では、第1回第2回東温市総合防災訓練説明会で決めたであろう項目をいかに実施していくべきか協議する場で、班長そのものがこの会の目的を理解してはなく、無駄な120分間を浪費した、企画立案者は会の目的を班長に理解して出席するよう反省してほしい。	・来年度説明会において、訓練の主旨等を理解していただくよう努めますので、担当者会においてスムーズに会運営ができるようご協力をお願いします。	・各自主防災会長へ訓練の趣旨を説明し、運営マニュアルを事前配布したうえで、説明会を行いました。
41	・【第1回担当者説明会8/29】出席にあたり、私は8/18地区の自主防災組織会長から説明を受けたが説明する本人が避難所運営委員会には【初動期】【展開期】が有ることを理解してはなく、私の質問に的確に答えられない状況の説明会であった、やむなく危機管理課に出向くことになりお互いに時間を無駄にした状態だ。 自主防災組織連絡協議会は各地区の自主防災組織責任者の研修をすべきであり、本人たちももう少し勉強してほしい。	・来年度説明会において、訓練の主旨等を理解していただくよう努めます。 また、防災士に対しての各種研修を令和5年度から開始しましたので、今後内容の充実にも努めます。	・事前説明会において、訓練主旨を説明しました。また、令和6年度においても防災士研修を実施します。
42	・【第1回担当者説明会8/29】個別協議会の席に参加した班内の某氏は、地区自主防災組織の役員は1年交代で自主防災がよくわかっていないと明言。 自主防災組織の役員の有り方に問題があることを危機管理課、自主防災組織連絡協議会は知るべきだ。	・自主防災組織は、地区の役員が兼務していることが多く、早い地区は1年毎に役員が変わることも把握しています。そこで、市では自主防災組織活動マニュアルを作成し、多くの方が一定の知識を持てるよう各種訓練を掲載しています。また、自主防災組織の活動の中心に防災士の方がなるようにお伝えしています。	—
43	・【医療衛生班】関係予定者は9人で出席者は5人、欠席者は4人であった、危機管理課はこの欠席者を事前に把握していたのか、出席案内に問題は無かったか、この出席率で【第2回担当者説明会9/12】の会議に支障はないのか、支障がないなら個別協議会は2回開催する必要はなく1回でよい。	・担当者会、当日訓練を含め欠席者を事前に把握はしていません。また、案内については各自主防災組織会長からしていただくよう当初の会議において確認しています。 ほとんどの班の担当者会は1回で終了しており、医療衛生班については、スムーズな会の運営にご協力いただければ当然1回で終了したと思われます。	・今回の事前説明会でも欠席された方がいましたが、1回の開催で説明会を終える事が出来ました。
44	・【医療衛生班】第1回個別協議会において、会議の目的説明がなく基本マニュアルの説明に終始した、基本マニュアルの説明が主目的ではないはずであり、今回の120分は無駄話が多く討議になっていない。中身の無いこの程度の会議ならば所要時間は90分位が妥当である、又班長（班長代理）のリーダーとしての指導力が全くなく説明会以前に解決すべき問題だ。	・第1回の担当者会では基本マニュアルに基づきて班運営の説明をすることが事前説明会において決定していました。担当者会開催時にその旨を説明してから協議に入れば良かったと反省しています。 ただ、120分かかった会議については無駄話ではなく、1名ご説明を聞き入れてもらえなかった事が原因と考えています。今後はスムーズな会運営にご協力いただければ説明をきちんと行いたいと思います。	・運営本部長以下、班員の皆様に訓練の主旨を理解していただきましたので、スムーズな会運営ができました。
45	・【第2回担当者説明会9/12】会議開催の趣旨説明が不十分（第1回担当者会議とリンクした内容でない）	・開催した主旨を理解していただけるよう努めます。	・令和5年度の反省を基に、開催の主旨を説明し参加者に理解していただきました。
46	・第1回8/29【医療衛生班】（前述の通り）出席予定者は9人の内出席者は5人（55.5%）、欠席者は4人であった、司会進行は消防署〇〇さん 第2回9/12【医療衛生班】出席予定者は9名の内出席者は6人（66.6%）、欠席者は3人であった、司会進行は危機管理課〇〇さん この様な参加率でいいのか、良いなら会議の必要が無く当日の説明だけでよい。 出席理由の不明な自称防災士の〇〇さんの参加は会議の内容から参席する必要はなく、東温市自主防災組織連絡協議会会則に定める役員かも分からないがここの場に必要は無く不愉快である。	・出席率が悪いのは事務局としても問題があると思っています。来年度の訓練ではできる限り参加していただくよう各自主防災組織の会長にお伝えします。 また、今回の説明会等において各地区の防災士さんもご参加いただきましたので、担当者会においても班員以外の防災士の方が複数名参加されていたことを申し添えます。	・各自主防災組織の会長を通じて説明会を行う旨、連絡をしていただきました。しかしながら出席率の悪い班もありましたが、仕事の関係もありますので、ある程度の欠席は仕方のない事だと思っております。
47	・担当者説明会の内容 第1回担当者説明会、第2回担当者説明会の内容が異なり会の目的が明示されてはなく無駄な時間を要した、会の主催者は説明会の目的統一を図り一貫性のある会議運営をするべきであった。	・担当者説明会での内容は、1回目2回目とも同じ内容です。本来1回目に説明して担当者会を終える予定でしたが、1回目はスムーズな進行が出来なかったため、2回目に同じ内容での説明を行っています。	—
48	・避難所計画図面 校舎の配置は模式図であり正確な校舎配置の平面図が欲しい	・校舎の配置図について、訓練等を行う上で問題があるとは思いますが、貴重なご意見として今後検討します。	・避難所運営マニュアルにある、施設利用図の使用をお願いします。
49	・配布図面は校舎配置において既設建物の1階2階の区別の明示が無く判読しにくい	・1階2階等表記について、今後対応したいと思います。	・今年度マニュアルの見直しを行いました。1階2階の表記については施設側と今後協議します。
50	・校舎敷地内の建物、校舎間の連絡廊下の表示がなく、図面と現地の乖離が大きい	・1階2階等表記について、今後対応したいと思います。	・今年度マニュアルの見直しを行いました。1階2階の表記については施設側と今後協議します。
51	・次回は必要な要件を理解したうえで配置計画をすべきである。	・市総合防災訓練では指定避難所の開設訓練時体育館を中心に訓練を実施します。そのことを踏まえて、事前説明会等で自主防災組織を中心に配置計画を協議していただきます。	・事前説明会において、自主防災組織を中心に体育館内での配置を決めました。

総合防災訓練 (R05) 実施後の課題等

番号	問題点	回答	R06訓練等対応状況
52	・避難所屋外施設の区画設定「ゴミ集積場」 ①計画案は学校境界外民地に計画している。 ②集積とするための面積がない③ごみ収集車の通路確保がされていない（ゴミ収集車の例：全長5.22m×全幅1.84m×奥行1.59m×全高2.32m車体重量6.335t最大積載重量2t最小回転半径5.5m以下）	・①計画案は学校敷地内になっています。②ごみ集積面積は被災状況に異なるため一概には言えません。③市の委託業者は進入できる車両を保持していると思われますが、今回の訓練で動線が良くないことが判明しましたので、他の問題点も含めて配置図の再考を小学校等と検討します。	・今年度マニュアルの見直しを行うにあたり、配置図の再考をお願いしました。
53	・「仮設トイレ」①仮設トイレ搬入搬出時の車両の動線（幅員、高さ）が確保されていない②男女別２箇所のスペースが必要（仮設トイレの例：サイズ：間口0.85m×奥行1.59m×高2.59m、便槽容量：330ℓ）（4tユニック車に仮設トイレを載せると地上高さは3.70m、4tユニック車両全7.99m全幅2.23m最小回転半径6.9m）	・①仮設トイレとありますが、市が備蓄しているトイレテントに簡易トイレを設置するもので車両の動線は考慮不要になります。②男女２個以上を想定しています。また、ジェンダーを考慮して兼用も配置する予定です。ただし、今回の訓練で配置場所に問題があることが判明しましたので、他の問題点も含めて配置図の再考を小学校等と検討します。	・今年度マニュアルの見直しを行うにあたり、配置図の再考をお願いしました。
54	・「給水場」①計画図面の給水場所は消防タンク車の動線が確保されていない。（タンク車の例：全長6.94m×全幅2.33m×全高2.9m容量5,000ℓ）	・今回の訓練では、自衛隊の展示等との関係上給水場所としています。また、川上小学校の場合、災害時には給水時のみ体育館前に一時的に駐車することを想定しています。	—
55	・「ペット飼育場」※今回は当初計画場所と変更①テント設営者は比較的高齢者が多いためテントの搬送が困難となる、設置場所に車両横づけが可能な場所選定が必要②使用テントは体育館の玄関右側に準備してあった、人手運搬距離50m 例（奥行1.5間×間口2間（2.69m×3.565m）4本支柱 天幕・支柱set50kg 横幕8kg）例（奥行2間×間口3間（3.565m×5.34m）6本支柱 天幕・支柱set90kg 横幕11kg）③ケージの無いペット用にヤード係留杭とそのスペースが必要	・ペット受付等場所の変更は当日の現場に即した対応だったと思います。①医療衛生班含め各班比較的高齢者が多いのは他の地区も同じだと思いますので、軽トラ等運搬が可能な場所の選定は必要だと思います。②今回の訓練ではテントを体育館前に準備しましたが、実際の災害においてはブルド倉庫又は運動場倉庫からの搬出になりますので、軽トラは必須と考えます。③ペット同行避難時にケージを持参するよう周知していきます。また、係留についても検討します。	・今年度中央公民館にて開催したペットセミナーにおいて、避難時にケージを持参するよう周知しました。
56	・物資荷卸し場所、給水タンク車 飲料水は体育館玄関近く搬入で特に問題なし。給水タンク車は東面の校舎敷地外の駐車スペースであり、人力運搬距離が長すぎる。改善が必要である。	・今後も備蓄品運搬は体育館前に乗り付ける対応で協議します。また、給水車に関しては自衛隊の展示等との関係上給水場所としましたが、災害時には給水時のみ体育館前に一時的に駐車することを想定しています。	—
57	・「救護室」「相談室」出来る限り体育館に近い場所を設定する、全体受付に「医療班」員を駐在させ「救護室」「相談室」「ペット管理室」等の案内に従事する。準備品に血圧計が必要	・「救護室」等は体育館に近い場所が良いと思います。また、救護室等を設置する場合、それぞれに医療班員を常駐させる必要があります。血圧計については、災害時には市職員（保健師）が巡回等を行いますので準備する必要はないかと考えます。	—
58	・班員構成（6班構成）今回の訓練の様に事前に班員構成を定数配置するのではなく、班の業務内容によって班員人数を考えるべきではないか。	・今回の訓練では、各自主防災組織が全ての役割に関わるような班員構成としました。来年度についても、事前協議において協議した結果により対応します。	・今回の訓練では、各自主防災組織が全ての役割に関わるような班員構成とし、希望者は自分がやりたい班で活動できるように配置しました。
59	・各班の待機ブースが必要、今訓練の状況では各班間の連携が取れない。	・今回の訓練において、各班の連携に若干問題があったことは把握しております。来年度については、事前協議の段階で連携が取れるように働きかけます。	・各班が連携を取れるよう、事前協議の段階で説明しましたが、十分連携が取れたとはいえない状況でしたので今後の訓練で改善できるよう努めます。
60	・「本部」と「各班」、「班内の連絡網」が不明である。	・今回の訓練において、各班の連携に若干問題があったことは把握しております。来年度については、事前協議の段階で連携が取れるように働きかけます。	・各班が連携を取れるよう、事前協議の段階で説明しましたが、十分連携が取れたとはいえない状況でしたので今後の訓練で改善できるよう努めます。
61	・避難者の受付場所は室内でなく玄関ポーチにすべきである。	・来年度事前協議において協議した結果により対応します。	・協議の結果、今回も受付は室内に設けました。
62	・防災訓練の主体者 今回の訓練の主体者は東温市であり地域の防災関係者は単なる飾りではなく、ドローン以外のデモンストレーションは市担当者でなくとも地域の防災関係者の中には有能な人物も多数いるので、次回以降の防災訓練については市職員はオブザーバーとして防災訓練の主体は地域の防災関係者にすべきである。	・将来市総合防災訓練の避難所開設訓練等を自主防災組織が地元の防災士を中心に実施できれば、被災時にも被害を最小限にできるものと考えています。そのためにも防災士の知識向上のための市独自の講習等への参加を促したいと考えています。	・将来的には、防災士を中心に訓練を実施できることを目的に今後も訓練を重ねていきたいと考えております。市独自の講習会を開催いたしますので、ご参加ご協力をお願いします。
63	・訓練の起承転結①参加者全員を集めた訓練開始セレモニーがない、市長挨拶は開始時にすべき②各班班長の開始、終了の締めくくりがない③体育館内デモンストレーションの案内不足④閉会宣言はあったので良いとする。	①開始10分前に全体説明（1日の流れ、注意事項）を参加者に説明します。来年度事前説明会において協議し、市長挨拶の時間帯についても協議します。②訓練開始については、シェイクアウト訓練終了後本部長から訓練開始の合図をします。③デモンストレーションについてはもっと周知を図ります。④スペース的に可能であれば、地区ごとに並んで閉会宣言等を行います。	・昨年の結果を基に、タイムスケジュールを作成しました。昨年に比べ、訓練全体の流れが把握しやすくなり、スムーズに進行できたと考えます。デモンストレーションについてもアナウンスを入れました、今後も継続して訓練内容等の見直しを行い、より良い訓練となるように努めます。
64	・訓練は午前8時の防災無線によるサイレン音を合図にシェイクアウト訓練から開始され、直後から避難所開設訓練で慌しくしている最中、午前9時に「市長あいさつ」が始まった。なぜこの時間帯に市長あいさつが必要なのだろうか多に疑問であった。最後で良いのではないか。壇上に向かってあいさつに耳を傾けているのは一見多くが市役所職員、消防関係、運営本部職員の方々であって、実務を担当している方々（ボランティア）は避難所開設に汗を流していた。	・市長あいさつの時間帯については全体の流れを確認しながら調整します。	・ご指摘いただいた市長あいさつにつきましては、訓練全体の流れを見直し、今回は訓練の最後に実施いたしました。

総合防災訓練 (R05) 実施後の課題等

番号	問題点	回答	R06訓練等対応状況
65	・一番大切な情報共有が確実にできていない、一部の方のみに届いている。事前準備として説明会が2回（8/29、9/12）開催され、意見交換及び決定事項があったにも関わらず、ペット管理場所の設置が中止となったこと、また高齢者等要配慮者受付の中止になったことなどが伝わってこなかった。さらに、訓練中に変更する事項については、班長が運営本部に報告し、運営本部から班長に指示を出し、班長が各班員に連絡することが基本であろうが十分にはなされていなかった。（追記）上記に「ペット管理の設置が中止となったこと」と記載しているが、誤った嘘の情報が伝わってきたことが後日判明した。実際には医療衛生班が設置され、7頭の犬を受け入れたとのことであった。誰が決定し、誰に伝えたのか検証する必要がある。	・今回の訓練で、運営本部と班長、班長から班員への連絡事項が徹底されていなかったのは、市の説明不足と思われます。来年度は事前説明会において、連絡の流れを徹底します。また、ペット管理所については当日動線等を考慮して設置場所の変更がなされました。動線等を考慮して臨機応変対応することは大事なことだと思います。今後は、変更した場合の連絡の徹底について事前説明会において説明します。	・運営本部と班長、班長から班員への連絡事項の徹底について、事前説明会で説明しておりますが、連絡が十分とれていたか、確認ができていない部分もあるので、連絡の流れの再確認、情報の共有については、次回訓練の課題といたします。
66	・指示系統が不明瞭で、交錯した指示が出ていて、混乱の元になっている。市職員の方が受付を担当されている市職員の方を別作業に転換されて、受付担当者が3名（3/9地区）不在となった。多忙でないとはいえ、他の受付担当者に連絡することなく去るのは如何なものか？また、班長が十分に判断できていない事項について、その場で市職員の方が指示を出していた。さらには、市職員の方の判断によって、例えば受付表示を勝手に移設されていた。班員で事前に決めたことを、無断で変更するの横暴さは如何なものか。	・受付表示については、受付の混雑具合を見て市民の方より地区の表示を見える位置に変更した方がよいとのご意見を受け移設しましたが、本来班長に確認をとってから移設するべきでした。来年度以降、班長に確認を取り、班長の指示で班員が移設等を行うようにします。申し訳ございませんでした。	・班長の指示のもと、地区ごとに分けて受付を設置しました。多少の混雑や混乱はありましたが、最終の人員確認までできました。
67	・事前の説明会において話し合った予定通りの作業が行われておらず、上記のような状況であれば、訓練ではなくて行事として行ったものと受け止められる。	・当日の状況で事前の打ち合わせと変更される場合もあると思いますが、その場合はきちんと運営本部を通して連絡が各班に伝わるよう来年度の事前説明会において徹底します。	・事前の打ち合わせが出来ていたため、当日の変更はなく、ほぼ予定通り作業を行うことができました。
68	・変更等もあるのであれば、訓練であれば各自の最終確認も必要であるため、当日の正確なタイムスケジュールを訓練当日に配布してほしい。	・各班の設置場所や、使用物品については当日の状況により変更する場合がありますが、連絡体制がきちんと整っていれば問題ないと考えています。来年度は事前説明会において連絡体制を徹底します。	・タイムスケジュールを作成し配布しました。
69	・一般市民の方々には最初に受付を行う認識は薄いと考えられるので、「先ずは受付をお願いします！」という内容の表示が見やすい入り口付近にあれば、受付で声掛けの負担軽減になるのではないかと。	・おっしゃる通りだと思います。被災時に備えて常時用意しておくようにします。	・事前の説明会において、受付へ誘導する案内人を設けることを協議しました。
70	・地区外の受付が無いが、設置すべきである。実際に起こる災害時には勤務などで東温市内に居られる地区外の方も多いのではないかと。	・おっしゃる通りだと思います。被災時に備えて常時用意しておくようにします。	・地区外の方の受付を開設し、受付を行う事が出来ました。
71	・受付時にアンケート用紙を被災者にお渡しし、受付で回収するよう指示が出たが、アンケートの記入自体が終了後となるはずである。訓練後にお渡しし、後日回収すれば、会場で持ち歩く必要もなく良いのではないかと。	・今回のアンケートは、配布及び回収に問題があったと認識しています。来年度は、初回の事前説明会から協議して改善したいと思います。	・アンケート用紙の回収箱を出入口に設け、訓練終了後に回収する方法としました。
72	・避難所に避難者ルールの掲示が張り出されていたが、文字が小さくて読みづらかった。	・来年度は書体を変更するなど対応します。	・今年度は、文字を大きくしました。
73	・今後も定期的に訓練が必要だと思う。	・今後も継続して訓練を実施します。	—
74	・とても為になりました。また開催されれば、参加したいです。	・来年度も継続して開催しますので、参加していただければと思います。	—
75	・今回は始めから情報が少ない中での参加だったので、色々な事を想定した訓練（負傷者、パニック者等）がとても重要だと思いました。 訓練自体はとても役に立ったと思います。情報が少なかったり、聞いても分からないと答えられた係の方が複数いたので色々な事を想定したことが必要かと思いました。	・地震発生後の指定避難所開設訓練ということもあり、限られた情報の中でできる限り早く指定避難所を開設するためにどうするかを訓練しています。スムーズな開設ができるようになれば、条件を付与した想定訓練を実施したいと考えています。	・今回は、東温市医師会、消防団に参加していただきましたので、傷病者のトリアージ訓練、生活用水確保訓練を実施しました。
76	・定期的な訓練が必要だと思います。訓練の認知度が低いのもっと幅広く（子供たちをまきこんだり）平日などでも訓練があれば良いと思います。 まだどのようにするのか流れができていなかったのも、訓練の回数を重ねて流れを（マニュアル）作りが必要かと思います。受付等入口が狭く、込み合っていたので、（受付）入口は広く分かりやすくするべきだと思います。 ☆簡易スリッパやマスクとかっぱの作り方など、広報で告知しても良いと思いました！！	・自主防災組織が指定避難所の開設をスムーズに行えるようになれば、次のステップとして多くの方が参加したり、平日や夜間の訓練が実施できればと思います。 受付が狭く、混雑したことは今後の課題と思います。来年度は事前協議の段階で受付の場所を検討します。 簡易スリッパ等の周知につきましては、今後検討します。	・昨年に続き、中学生ボランティアに参加していただきました。いつ災害が起こるか分かりませんので、平日や夜間の訓練の実施も検討できればと思います。 事前協議で受付の場所を検討し、対応しました。 今回は簡易スリッパの作成は実施しませんでした。

総合防災訓練(R05)実施後の課題等

番号	問題点	回答	R06訓練等対応状況
77	・季節毎の今日の様な避難訓練、特に暑い時期寒い時期や、時間帯で違う訓練（（夜間など）職員さんの負担が少ないくらいで）が必要だと思う。	・将来的に季節毎の避難訓練ができればよいと思います。	－
78	・アウトドア訓練（キャンプの経験が災害時に役立つと思う） 今回の訓練で色々知れて、体験できてよかった。	・キャンプ体験は災害時に役に立つとは思いますが、現時点で総合防災訓練での実施は難しいと思われます。	－
79	・初めて防災訓練に参加してみて分からない事も知れて良かったです。 また家でも、訓練した事を家族に話してみようと思いました。	・訓練に参加して感じたことをご家族で話すことで災害に対する意識も変わってくると思います。今後ご家庭において防災に関する意識が高くなることを望みます。	－
80	・会場設営や準備運営など、大変お世話になりました。ありがとうございました。	・今後も訓練等にご協力いただければと思います。	－
81	・頭を守る訓練が必要 すごく分かりやすかった。ライフハックを知れて楽しかった。	・地震等災害時に頭を守ることは大切ですので、消防と相談します。また、訓練時に周知していきたいと思います。	－
82	・災害が起きたとき冷静に行動する訓練が必要 地域の方や総務班の人が的確に指示をしてくれた。災害についてのことを知れ、色々なことが身についたので訓練を続けて行きたいです。	・災害が起きた場合に冷静に行動することはなかなか難しいと思われますので、訓練を重ねることで、冷静に行動できるようにしていければと考えます。真剣な訓練によって身につくと思います。	－
83	・各地域毎での集団行動の訓練が必要 1人1人あっちいたりこっちいたりすると身動きがとれないから合わせて動いた方がいいと思った。 「北方こっちです。」っていう案内があったと思うんですけどあれは言うだけではなくブラカードなどで分かりやすくしたらいいかなと思いました。また、ボランティアという機会があり、なかったら分からないことだらけだったのでいい経験になりました。ありがとうございました。	・各地域で避難訓練等を実施してもらうため「自主防災組織活動マニュアル」を作成しています。各地区が防災意識を高めることで動きは変わります。 受付の案内方法等については、来年度の訓練において事前協議の段階で検討したいと思います。	・市総合防災訓練に合わせ、事前説明会を開催し、受付へ誘導する案内人を設けることについて協議していただきました。
84	・避難訓練（主に学校）で今回の様な訓練が必要 自分でできることを考え、テントの立て方から食料関係のことまで、たくさんのことをすることができ感謝しています。もし災害があった時にはこのことを思い出して、できるようにしたいです。今後もこのような活動があれば参加したいと思います。 ・高齢者もすぐ分かるような案内	・学校においても避難訓練時にテント設営等の体験をしてもらえればと考えます。 また、防災講座の一環として講座を行うことも可能です。 ・案内板の高さ、位置を検討します。	・案内板の高さだけでなく、文字の大きさにも配慮しました。今後も参加者の意見を参考に、文字の大きさ、フォント等、検討してまいります。
85	・忍耐力、水泳の訓練 テントの設営や被災地の食料のおいしさを知れてすごくためになりました。	・防災のカードゲームなどで忍耐力を高めることは可能です。水泳は訓練としては難しいです。	－
86	・救助活動関連の訓練が必要 防災への知識や興味が高まった！	・今後救助活動訓練の実施について検討します。	・自主防災組織による救助訓練は実施しませんでした、次のステップとして検討したい。
87	・救助活動、二次災害時の対応、ケガをしたときのケアする方法 今回の防災ボランティアに参加して本当によかったと思いました。受付では最初は不安で失敗することがあったけど、だんだんと慣れてきてやさしく笑顔で対応することができたし色々な人のサポートを進んでできたし防災について学べることができました。そして色々な人と仲を深めることができてよかったです。最後には色々な人達に褒められたのでうれしかったです。まだまだ子どもですが災害時には活躍し、人を助けられるようこれから頑張って行きます。本当にありがとうございました。	・今後救助活動訓練の実施について検討します。また、応急手当訓練も検討します。	・女性消防団員による応急救護訓練、医師によるトリアージ訓練を実施しました。次のステップとして救助訓練も検討します。
88	・自分たちでご飯をつくる訓練が必要 楽しかった。地域の繋がりが深くなったと思う。	・学校での炊出し訓練は難しいと思いますので、地元自主防災組織の防災訓練時の炊出しが現実的だと思います。	－
89	・自分たちでご飯をつくる訓練や消火訓練が必要	・学校での炊出し訓練は難しいと思いますので、地元自主防災組織の防災訓練時の炊出しが現実的だと思います。 学校での避難訓練時に消火訓練は実施可能と思われます。	・今回の訓練に消火訓練はありませんでしたが、訓練内容の見直しを行う際には、消火訓練も検討したいと思います。
90	・消火訓練が必要 とても充実していて楽しかった。自衛隊が来ていて沢山体験できたので良かったです。	・学校での避難訓練時に消火訓練は実施可能と思われます。	・今回の訓練に消火訓練はありませんでしたが、訓練内容の見直しを行う際には、消火訓練も検討したいと思います。
91	・よりリアルな設定（避難者のケガや年齢など）で運営してみる。リアルHUGの訓練が必要 大規模な訓練にも関わらず和やかかつ迅速円滑な運営で落ち着いて活動できました。今後も参加したいです！ありがとうございました。 ・自宅、学校、職場、外出先での被災にも対応できるよう頃から情報が得られるように。	・全ての地区で避難所開設訓練を行った次のステップとして想定訓練を考えています。 ・とうおんアプリの周知を図るとともに、掲載内容の充実に努めます。	－

総合防災訓練(R05)実施後の課題等

番号	問題点	回答	R06訓練等対応状況
92	・ボランティアの受入訓練が必要 実際の市民を加えた訓練の実施。参加者を増やすこと。 今回の訓練は参加者も少なくメニューも多かったため退屈せず行うことができた。	・ボランティアの受入訓練については、いつかの段階で必要であるとは思っていますので、今後検討します。 訓練参加者の増員については、もう少し限られた人員で開設訓練を実施する必要があると思います。また、来年度も色々なメニューを検討して実施します。	・ボランティアの受入れを行いました、しかしボランティアの情報共有が十分でなかった ので、今後の訓練で改善を図ります。
93	・今回の訓練の問題点を洗い出し、毎年同様のR P Gを続ける事が実際の災害に対応する力が身に付くと思います。 入口受付の渋滞が酷い。上部に案内板を設け音声でガイダンスすべきかと思います。	・今後も避難所開設訓練を実施します。 入口受付については、今後検討が必要と考えています。来年度事前協議の段階からどうすべきかを自主防災組織と検討します。	・受付が渋滞する事は想定して事前協議を行いました が、混雑しました。今回の結果を基に、次回の訓練で改善できるよう努めます。
94	・障がい者がいる場合の避難訓練、配慮をどうすべきか 実際に巨大地震にあうとどうなるかわからない。不安が多い。	・障がい者等配慮が必要な方には福祉避難所もあります。また、今回の開設訓練では設営していませんが、実際には要配慮者の場所も設ける予定です。日々の訓練が災害時の行動に反映されると思います。	・令和5年度の訓練では要配慮者、令和6年度の訓練では傷病者に対応した訓練を行いました。
95	・入口の混雑	・入口の受付については、再度検討する必要があります。来年度の訓練において、事前協議時に自主防災組織と検討したいです。	・受付へ誘導する案内人を設けることを協議し、対応しましたが混雑解消に至りませんでした。
96	・いざ避難というと、近所の呼びかけとか安否の確認が大切だと思います。高齢者社会での避難の仕方とかが問題かと思っています。	・避難行動要支援者名簿の作成や、個別避難計画の作成により協力体制が確立できると思いますが、高齢者本人の作成への協力がなければできないことが問題かと思っています。	—
97	・地区の実情に対応した訓練が必要（山間部、平地部当） 電源の確保 塩は半部で良い	・各自主防災組織で個別に訓練を実施してください。 開設当初の電源は確保しています。 塩は2gの小袋ですので、自分にあった適量を使用してください。	—
98	・入口の地区別受付→広く場所をとらないと！！	・入口の受付については、再度検討する必要があります。来年度の訓練において、事前協議時に自主防災組織と検討したいです。	・事前の説明会において、受付へ誘導する案内人を設けることを協議しました。体育館前のスペースが工事のため、有効に使うことができませんでした。
99	・テント内の設備ベットや他の備品の有無設置あれば便利な物等の展示 高齢者が距離的に大変と思う。 一連の流れについて把握できなかった ので、スケジュール表の掲示があった方が良かった？	・来年度の総合防災訓練において、市が保有する資機材等の展示を行いたいと思います。 スケジュール表については、事前協議時に自主防災組織と検討したいです。	・資機材取扱い訓練で、市が保有する資機材を使用体験をしていただきました。スペースの関係で展示できなかった資機材もありますので、来年度の訓練で検討したいと思います。
100	・非常用トイレの重要性 必ず必要となるアイテム、どこに売っているのか。どうやって使用するのか。これがなければどういう状況になっていくのか知る必要があると思う。 携帯電話用の簡易バッテリー、充電用バッテリー 各訓練で詳細は知ることが出来た。災害に対する自意識を高めるきっかけになった。	・非常用トイレは、ホームセンターなどで購入することができます。使用に関しては来年度の訓練において使い方の講座を実施します。 携帯用のバッテリー等については今回の訓練で準備していましたが、紹介できませんでした。来年度訓練時に紹介します。	・携帯用のバッテリー等について、今回の訓練で使用していましたが、紹介まではできませんでした。来年度訓練時に紹介します。
101	・総合訓練も大切だが公民館単位での同じような訓練も必要ではないか	・自主防災組織単位で訓練できるようマニュアルを作成しています。	—
102	・同様の訓練を他地域で実施の際その地域にある技能を持つ人材を発災時点のその場で見つけ出しその人を取り込んだ訓練が必要	・実際に災害が発生した場合、避難所に避難してきた一般の方にもいろいろ動いてもらう必要があります。今回の訓練でも一般の方を巻き込んでもらうよう説明しています。その方が防災士であればなお心強いと思います。	・避難してきた一般の方にも手伝ってもらうように事前の説明会で話をしていましたが、初めて会う方に積極的に声掛けすることに躊躇いがあり、協力をお願いすることができませんでした。来年度の訓練では改善できるよう検討します。
103	・公民館ごとの訓練 流れがわからない。参加者にプログラムを配れば	・自主防災組織単位で訓練できるようマニュアルを作成しています。 プログラムについては、来年度の事前協議において自主防災組織と検討します。	・実際の災害を想定しての避難であることから、プログラムの配布はしませんでした。
104	・受付の札を机の前に貼っても人で見えない。背後にかけるなど高い位置が良い。若しくは入口に案内を貼る。受付がせますぎ。	・受付の案内については、再度検討する必要があります。来年度の訓練において、事前協議時に自主防災組織と検討したいです。	・案内板の高さだけでなく、文字の大きさにも気を付けました。今後も参加者の意見を参考に、文字の大きさ、フォント等、検討してまいります。
105	・受付に時間がかかった。QRコードなども活用したら良いかも 受付の地区が下の方に書かれていたので、上の方にあれば分かりやすい。	・現時点で受付にQRコードを導入することは難しいと思います。 また、受付の案内については来年度事前協議時に自主防災組織と検討したいです。	・受付へ誘導する案内人を設けることを協議し、対応しましたが混雑解消に至りませんでした。
106	・避難所の開設訓練を役割区分して行う 訓練の目的が明確でない。（伝わってない）想定が必要な訓練なのか避難してからの開設訓練なのか不明。訓練の内容、タイムスケジュールが伝わってない。受付の状態ですでに混乱している。もう少し目的を明確にした方が参加しやすいと思う。	・今回は発災後避難所に避難してからの避難所開設訓練を実施しています。各班の役割区分も決めて行っていますが、役員の方以外の避難者に対して訓練の内容、スケジュールをお伝えしていませんでした。来年度どういった方法がよいかを含めて自主防災組織と検討します。また、受付についても再検討します。	・避難してからの避難所開設訓練を実施しています、運営本部、各班長にはタイムスケジュールを配布しています。 受付へ誘導する案内人を設けることを協議し、対応しましたが混雑解消に至りませんでした。

総合防災訓練 (R05) 実施後の課題等

番号	問題点	回答	R06訓練等対応状況
107	・避難所訓練が必要 防災に対する意識の高揚ができた	・今後においてもまずは避難所開設訓練を実施します。	—
108	・受付での混乱を考慮し改善が必要だと思われる。受付後の誘導も必要。指導者の言葉が伝わりにくい。集団になるのでまだまだ感染対策はひつようではないかと思われる。興味のある方を集めるのでなく各地区でスリッパ作りを指導者を決め作ってもらうなどせかく集まった方の共助をそそようにしなければ今後の共助につながらないと思う。	・受付については、来年度の事前協議において自主防災組織と検討します。新型コロナについては５類となったため現時点で感染症対策をした受付等は考えていません。	・受付へ誘導する案内人を設けることを協議し、対応しましたが混雑解消に至りませんでした。 新聞紙スリッパの作成は来年度の訓練で検討したいと思います。
109	・安否確認の訓練、それぞれの被災状況を想定した救助訓練	・安否確認については、まずは自主防災組織単位で実施することで早期の対応が可能と思われます。	・安否確認訓練は、実施していません。
110	・昔ながらの訓練でなくスマホか４Ｇ５Ｇを利用した訓練案内があれば良いと思う。 アナウンスが聞き取りにくい。同じ内容が少しずれて３～４回流れるので聞きたい部分が重なって聞こえにくい。 地震速報のようにスマホに通知があれば分かりやすい。地域に特化したアプリなどがあれば情報が伝わりやすい。	・地区に限られるためスマホ等を活用して訓練するのは難しいと思われます。 アナウンスに関しては来年度検討します。 地域に特化したアプリは難しいですが、現在のとうおんアプリの活用方法を検討します。	—
111	・内容より回数が必要かなと思います。	・今回の避難所開設訓練は、各集会所において自主防災組織が単独でも訓練できるものですので、各自主防災組織で実施することで訓練を重ねていただければと考えます。	—
112	・ペット同伴の訓練は勉強になるので続けてほしいです。 初めて参加しましたが、備えの不足している箇所に気づくことができました。	・ペット同伴訓練は今後も実施します。	・今回もペット同伴訓練を実施しました。
113	・同じような訓練をしていいですが、色々な役割を担当していけば全体がよくわかると思いました。 同じことでも何度しても皆に知ってもらえる。どんな状況でも皆が対応できるようになればいいと思いました。	・市の総合防災訓練は数年に１度しか実施しませんので、各自主防災組織単位で避難所開設訓練を実施していただければと思います。	—
114	・体育館の壁や天井ボードの落下が心配	・被災した場合、施設内の状況を確認してから避難所を開設しますが、災害時には十分な確認注意が必要と思われます。	—
115	・各地区の方が座ってまっている時間が長かったので心臓マッサージの体験などがあればいいと思った。	・今回は避難された方への対応を複数考えましたが、来年度はさらに項目を増やしたいと思います。	・女性消防団員による救命講習を実施しました。
116	・来てから２０分、受付はこちらですと大きな声で言ってくれた人が１人、１回のみ、もう少し拡声器とかでどうしたらよいか教えて欲しい。 今回うまくいかなかった事を次回の訓練や本番で生きるように。	・受付の案内については、再度検討する必要があります。来年度の訓練において、事前協議時に自主防災組織と検討したいと思います。	・受付へ誘導する案内人を設けることを協議し、対応しました。拡声器は使用しませんでしたので次回訓練で検討します。
117	・小単位で集合させることと思います。 もっとリーダーシップの取れる者を配置し声をかけ合ってほしい。	・集合する単位については検討します。 経験を積むことで訓練内容を熟知し指導力を発揮できると思います。	・本部役員、各班員は訓練開始時刻前に集合していただきました。
118	・ペット同行避難所の開設	・ペット同伴訓練は今後も実施します。	—
119	・昼間だけでなく夜間もしなくてはならない。暗やみでどれだけの人がきちんと避難できるか？また自分の身を守れるか等、地震は突然やってくる、その時どれだけ共助できるかが問題。 本災害と訓練では状況が全く違うと思います。東温市は比較的地形に（南海地震）恵まれていると思うが、当市には断層があり油断はできない。訓練で皆さん笑顔で話したりのんびり行動していたが本番で本当に訓練通り動けるのか全く不安です。日本人の悪いくせなのか本当に悲惨な目に合わなければ分からない。当事者の意見などよく聞くべき！	・夜間など時間を変えた訓練も必要と思いますが、なかなか実施は難しいと思われます。各自主防災組織において、避難所開設訓練を実施していただくのが現実的と考えます。 また、本当に被災した場合には多くの方がパニックになると思われますので、訓練を重ねて動きを覚えていただくのが大切だと思います。	—
120	・自助の仕方の訓練が必要	・来年度の訓練時に自助について講義を行いたいと思います。	・防災講座で自助についてお話をさせていただいております。
121	・日頃から防災意識を持って生活することが大事だと思います。訓練をすることで災害時のとっさの判断ができると思いますのでこれからもくり返し防災訓練に参加したいと思います。	・市民の方の防災意識が少しでも高くなるよう訓練の内容も検討していきたいと思います。	・訓練内容の見直しを行い、消防団、医師会、歯科医師会、薬剤師会に参加いただきました。
122	・今後必要なくんれはよく分からない。 くり返し訓練することが大事だと思います。	・災害に備え、まずは避難所開設訓練を実施したいと考えています。	—
123	・受付が運動場付近にあるという事前の説明だったが、当日行くと場所が変わっており、当初困惑した。	・事前の説明と受付場所が変更になったこと申し訳ございません。来年度の訓練からは、避難してくる方に事前に詳細な情報を出すべきか、当日の変更も考慮して大まかに体育館周辺というべきかも含めて自主防災組織と検討したいと思います。	・今回の訓練会場は、運動場と体育館が隣接しているため、受付場所が分かりにくい等、特に混乱はありませんでした。

総合防災訓練 (R05) 実施後の課題等

番号	問題点	回答	R06訓練等対応状況
124	・駐車場と避難場所が敷地内で最も遠い位置にあったので、ケージ運搬が大変だった。東側の空き地が使えるなら、駐車場を近い位置にしていきたい。	・今回の訓練では、自衛隊の災害物資展示等があり東側の空き地を駐車場として使用していませんでしたが、被災時には避難者の駐車場として利用するようになると思います。ただし、ペット同伴者専用の駐車場にはなりませんので、その点はご理解願います。	－
125	・ペット避難場所が体育館敷地北で建物の影となっており、冬場は風も強いのもっと季節が進むとかなり凍える。体育館内に入れないのなら、季節により場所を日当たりの良い南側にするか、テントに風よけの横幕を張るなどもう少し考慮していただきたい。	・今回の訓練では、当初の受付場所を当日変更して体育館敷地北に設置しています。被災時にも当日の天候や、他の受付場所等の状況により臨機応変変更すると思われます。できる限りペットの環境を考慮したいと考えています。また、ペットの避難場所については今回は使用していませんが、被災時には雨風を防げるように横幕を設置する予定です。	－
126	・ブルーシートが敷かれていたが、風が強く煽られて飛びそうになる。ペグなどを打ち込み、飛ばない対策を。テントも同様。飛ばない対策がされてなかった。	・ブルーシート、テントともに訓練時から飛ばない対策を施すようにします。	
127	・ケージに飼い主の名前を書いた養生テープの端切れを貼るように指示されたが、これでは何かの拍子に剥がれたり飛んでしまう可能性大。荷札など耐強風、耐飛散の高いものにすべき。	・来年度の事前協議において変更する方向で自主防災組織と協議します。	・ケージに付け外しが可能な荷札を準備しました。
128	・ペット避難参加者は我々以外にも何人かいたが、ほとんどの参加者が「散歩のついでに寄った」程度の軽装で、実際避難するとなった場合にどうするのか考えていなさそうな方ばかりに思えた。	・ペットの同行避難訓練は今回が2回目です。今後同行避難についてもっと関心をもってもらえるような取組を検討したいと思います。	・今回も軽装で来られた方がいました。防災講座等でペット同伴避難する際の準備物を周知してまいります。 ペット同行避難について関心をもってもらえるよう「ペット同行避難セミナー」を開催しました。
129	・ペットは絶対に「公助」や「共助」の順番からすると最も後回しにされる。だからこそ最悪の状況を想定して参加してもらおうよう、あらかじめ依頼して徹底させるべき。炊き出し貰ったらさっさと帰る人がほとんどで、訓練の実効性として疑問。	・ペットの同行避難訓練は今回が2回目です。今後同行避難についてもっと関心をもってもらえるような取組を検討したいと思います。また、一部の方は、ペット避難場所を離れて体育館内に入られたみたいです。	・ペットの同行避難訓練は今回が3回目となりますが、更にペット同行避難について関心をもってもらえるよう「ペット同行避難セミナー」を開催しました。
130	・長文のため要点のみ抜粋 役員の方が「わしは犬が嫌いなんじゃ」と言っていた。 まだケージを置いているのに折り畳み椅子を片付け始めた。 ブルーシートが飛ぶ旨伝えたら4隅のみ残した。 その後テントの天幕を外しでしたが、体育館ではまだ訓練が続いていた。 市職員は進行管理をきちんとすべき。 獣医師会はマイクロチップの説明だけでなく、ペットの種類、健康状態、登録、ワクチン接種の確認などを実施すべき。また、事前準備の重要性を教えるべき。 何のために訓練を実施しているのかをきちんと役員含めて伝えるべき。 事後検証をしっかりと行って意味のある訓練にしてもらいたい。	・配慮に欠ける発言、対応等申し訳ございませんでした。来年度からは言動に注意して訓練を実施するように気を付けます。 また、訓練中の片付けについては実施しない用徹底します。本来訓練中に片付けに入るのであるなら一度本部に相談して本部の指示で片付けを始める必要がありますので、連絡体制を含め徹底します。 獣医師会についてというより、市としてペット同行避難について事前準備の重要性をまとめたパンフレットを当日同行避難した方を含め訓練に参加した方に伝える方法を検討したいと思います。 総合防災訓練の実施する主旨についても徹底して伝えたいと思います。 最後事後検証については、自主防災組織連絡協議会においてきちんとこのご意見を含め報告し、来年度に活かしたいと考えています。	－
131	・ペットの飼育人口が増えてきているため、ペット同行避難の充実強化。	・ペット同行避難について、もっと充実できるように内容を再検討します。	・今回の訓練では、愛媛県獣医師会とNPO法人えひめイヌ・ネコの会にご協力いただき、訓練の充実を図りました。
132	・市民への情報発信として、とうおんアプリによる防災情報発信を行いアプリの普及啓発活動につなげる訓練も必要だと感じました。	・来年度の総合防災訓練において、とうおんアプリの利用促進を図ります。	
133	・総合防災訓練お疲れ様でした。問12と問13で回答しました。とうおんアプリを使用した防災情報発信を行う訓練も必要だと感じました。現在は防災行政無線音声を再生できるようになっていると思いますが、その他の情報も訓練時に発信し、市民の普及状況把握や普及啓発活動を行う必要性を感じました。	・とうおんアプリを用いた情報発信ついて、今後検討したいと思います。	
134	・災害時、若い世代の力が必要となるため、若い世代が参加できるような訓練も必要と思います。	・若い世代が参加したくなるような内容を検討する必要があります。まずは次世代の中学生にボランティアで参加してもらいます。	・中学生ボランティアに参加していただきました。今回は高校生の参加も検討してまいります。
135	・実戦形式の訓練であり、自主防災も勉強になっていたと感じました。少年消防クラブ、防災リーダーも参加させていただき色々興味を持って訓練していました。また、ご父兄の方も来られており、資機材や非常食に興味を持って参加してくれていました。今回の訓練において良い体験ができ意識の向上に繋がったと感じます。今後も若い世代の防災教育に力を入れ災害に強い東温市にできればと思っています。	・少年消防クラブ、防災リーダーについては、継続して参加して頂ければと考えています。 来年度への課題として、避難者と一緒にスリッパをつくるためには多くの新聞を用意する必要があります。また、何か発表もできればと思いますので、来年度に向けて打ち合わせができればと思います。	・今回の訓練では、残念ながら少年消防クラブ、防災リーダーの参加は叶いませんでした。
136	・今回は、資機材の展示や他機関の説明などがありましたが、有事の際を想定した訓練を継続して実施する必要があると思います。それに加え夜間の防災を実施してもよいかと思いました。	・資機材等の展示については、来年度内容を充実させます。今後も継続して訓練を実施しますが、夜間の訓練については、現実的などところで、自主防災組織単位かなと思います。	・今回は段ボールペットを展示させていただきました、今後も展示物の充実に努めます。

総合防災訓練 (R05) 実施後の課題等

番号	問題点	回答	R06訓練等対応状況
137	・少年消防クラブ防災リーダー研修の一環として参加し、自分も含めクラブ員達もいい経験になったと思います。個人的な感想として防災リーダーとしての質向上のため、防災に対する知識・技術を取得する目的として、今後実用性のある訓練が必要だと感じたので積極的に活動したい。	・来年度の内容について打ち合わせを行いたいと考えていますので、防災訓練において行いたい実用性のある訓練があれば申し出て下さい。	・今回の訓練では、残念ながら少年消防クラブ、防災リーダーの参加は叶いませんでした。
138	・メイン会場となる校区以外の市民の参加が少ないと感じるので、市全体で参加者を増やす工夫が必要だと感じます。 また、市職員の訓練ができていないと思いますので、災害対策本部運営訓練や職員参集訓練なども少しずつ取入れていくのが良いと思います。	・現在の訓練は校区単位での訓練のため基本的に校区外の方の参加はありません。本当は市全体複数の避難所での開設訓練をしたいのですが、まだそのレベルにありません。また、今回の市職員の立ち位置については、指定避難所開設に伴う自主防災組織のお手伝い（後方支援）がメインとなっています。ただし、災害対策本部の運営訓練や、参集訓練などは今後必要と思いますので、内部で協議したいと思います。	・数名ですが、校区外の方が訓練に参加していただきました。基本は、校区単位で訓練を行います。今回は校区外の方が訓練に参加しないまでも、訓練を見学できるよう検討します。
139	・市民の方々にも更に動いてもらい、一体となった訓練が必要に思った。	・被災時市職員は一旦市役所に集合するため、自主防災組織が指定避難所を開設運営することが現実的だと思います。そこをきちんと説明して皆が動ければと思います。	・避難者による、避難所の立ち上げと運営を目的に訓練を行いました。
140	・今後もこのような訓練や取組を続けていき、市民の更なる防災意識の向上に努めていきたい。	・職員を含めすべての方の防災意識の向上のためどうすればよいか常に考えています。何か打開策があれば教えてください。	・アンケートを実施し、様々なご意見をいただきました。
141	・自助の向上に向け、市民と協力した防災訓練	・来年度の総合防災訓練において、避難者への自助に対する講義等を検討します。	・訓練スペースの関係で講義はできませんでした。次回への課題として検討します。
142	・今後もこのような、防災訓練を実施していき、自助・共助の向上に努めていきたい。	・来年度の総合防災訓練において、避難者へ自助について講義を検討していますが、併せて共助や公助についても講義します。	・訓練スペースの関係で講義はできませんでした。次回への課題として検討します。
143	・今回のようなテント設置を含めた体験型の内容がいいと思う。	・来年度はテント等説明の他、簡易トイレの使用用法なども取り入れたいと考えています。	・今回はテント設営訓練のほか、実際に簡易トイレ（ラップボン）の組み立てをしてもらいました。
144	・管内のマイクとスピーカーを増設して、もう少し聞こえやすくできないか。（人が多い中での地声は全く聞こえなかった）説明する人を常に補助する人がいたら良かったかも。途中で座りたい人が多かったかも。椅子を出したのは正解。	・来年度はスピーカーの配置を考え、常にマイクを利用します。また、説明者に補助員を付けます。	・ハンズフリー拡声器の数を増やしました。
145	・市に頼らず、自主防災組織や市民等が自ら積極的に運営、実施する訓練	・自主防災組織での避難所開設訓練は今回が2回目です。まだまだ訓練を重ねていく必要がありますが、将来的にできればと考えています。	—
146	・各班での集合時に他の班員（地元住民）から「市職員がやってくれる」というようなことを言われた。市職員側の事前説明会で伝えられていたこと（市職員も勉強の一環として防災訓練に参加している）と違っていただけで、地元住民が自ら災害対応する姿勢が感じられず、休日を返上して参加している状況もあり、怒りを感じた。また、テントの設営訓練時も設営しているのは市職員と中学生、地元役員数名程度であり、他の参加者は見るだけ、非常食の試食をしているだけであつた。市職員が何もかもやってしまったのでは訓練の意味がない。実際の災害時には各避難所に市職員を配置できたとしても数名程度で、基本設営、運営は地元でやってもらう必要があると思うが、今回の訓練で、市民はなんでもかんでも市がやってくれるという認識が感じられた。	・自主防災組織への事前説明において、市職員は勉強の一環である旨は伝えていますが、まだまだ理解を得られていないことは十分認識しています。今後も引き続き自主防災組織が中心で開設を行う必要がある旨を説明していきます。 テント設営等資機材の取扱いについては、各地区単位でグループを作り、その中に市職員を配置するなど、多くの参加者が体験できるように改めます。また、参加者が多い場合には、試食と資機材取扱いの2つのグループに分かるなどの対応を取りたいと思います。	・テント設営等の資機材の取扱いについては、各地区単位でグループを作り、その中に市職員を配置するなど、多くの参加者が体験できるように改めました。
147	・テントを張る訓練の際に、市職員が立てるテントの数が多かったため、テントの個数を減らしても良いのかなと思いました。	・テントの数については検討しますが、できるだけ多くの方に参加してもらえるよう声掛けを徹底したいと思います。	・テント設営等の資機材の取扱いについては、各地区単位でグループを作り、その中に市職員を配置するなど、多くの参加者が体験できるように改めました。
148	・天候や気温によって、動きも変わってくと思う。様々な天候や季節に実施すれば、より防災意識や避難能力の向上につながると思う。	・自主防災組織を中心とした避難所開設訓練を開始して2年目なので、市内一円の訓練が終了した時点で季節の変更をしたいと考えますが、まずは、自主防災組織と開催時期の協議をしたいと思います。	—
149	・今回実施した川上小学校区の住民の皆様は、非常に意識が高く、市から当該地域で実施する旨、通知されてから、地域で何度か打ち合わせを重ねたと聞いている。 防災士や避難訓練の核となるリーダーの有無で変わってはくるが、各々が高い意識を持ち合わせていたのでスムーズであったと感じる。 また、今回の訓練実施に当たり、昨年度と同訓練を住民自らが視察したと伺った。 なかなかできることではないが、一度モデルケースを見学していると、実際に災害が発生した際の初動が適切になると思われるので、ぜひ、防災訓練実施時には、他の地域（特に次年度開催予定地区の代表など）も視察を行い、意見交換すれば、回数を重ねるごとに本市の地域防災意識・避難能力は高まると思う。 そのほか、私自身は、社会福祉課配属時に福祉避難所での訓練も参加したことがあり、加えて今回の防災訓練にも参加させてもらった。 また、避難所開設時には何度か現場で従事している。一方で全くそのような経験をしていない職員（特に若手職員）もいると思われる。 「公助」が適切に措置されることが、住民に安心感を与えることから、職員の積極的な参加を促すべきであり、職員研修の一環で導入することも検討すべきではないかと感じた。	・次回訓練を実施する自主防災組織には、前年度の訓練を視察することを勧めていきたいと思います。 また、職員の訓練参加について職員研修としてという意見については、今後総務課と協議をしたいと考えます。	・訓練に参加しないまでも、防災に興味がある市民が訓練を自由に見学できるよう検討したい。

総合防災訓練 (R05) 実施後の課題等

番号	問題点	回答	R06訓練等対応状況
150	・避難所運営をやってみると、できるだけ多くの人の助けが必要だと感じました。よりたくさんの人が参加してもらえるような働きかけも大切だと思いました。	・自主防災組織、地域住民、ボランティアそして市職員が積極的に参加してもらえるよう防災意識の向上に取り組みたいと思います。	・各班の活動で人員が不足する場合、避難者へ協力依頼をするよう、事前説明会で部長、各班長へ依頼しました。
151	・（訓練内容についてではないが）市の職員が主導していた以前の訓練とは異なり、自主防災組織主導とのことであるので、各課1名の職員派遣でなく、研修・地域との協働を学ぶ機会と捉え、新人職員、若手職員をもちろん参加させるとよいのではと感じた。	・職員の訓練参加について研修・地域との協働を学ぶ機会という意見については、今後総務課と協議をしたいと考えます。	－
152	・各班、地域のかたが中心となり熱心に訓練に取り組まれていた。ただ、他の班との連携が取れていないように見受けられた。例）避難所開設完了かどうかの確認なく、避難者の受入が始まっていた。各班の連絡係担当を決め、どのような時にどこへ連絡を入れるのかを押さえたらよいと思う。	・今回の訓練において、各班から本部への連絡、本部から各班への連絡があまり上手に機能していなかったと思います。来年度は、事前協議において、必ず本部に報告をあげる、本部から各班に必ず連絡することを徹底したいと思います。	・事前説明会において、本部への報告、本部からの各班への連絡を徹底するよう説明しました。
153	・市職員を対象にした資機材の取扱いの訓練	・多くの市職員は被災時に指定避難所に配置されますので、普段から資機材の取扱い訓練をしておくことは大事だと思われますので、今後実施に向けた検討を進めます。	・訓練に参加する職員には、事前に資機材取扱い講習を実施しました。
154	・予想していたよりも多くの市民が熱心に参加されていると感じた。ただ、実際に訓練が始まると当初に想定していたことがうまくいかないことがあるようだった。 また、避難者名簿に記入してもらおう際、自分の行政区が分からない方が多く、住所ごとのほうがわかりやすいのではないかと思った。 今回初めて防災訓練に参加したが、実際に参加してみないと分からない点多かったため、市職員は在籍している間に必ず一度は参加するようにすべきだと思う。また、各課1人でなくとも複数人参加できるようにできればよいと思う。	・川内地区は合併時に「区」ができたので、多くの方が自身の区を理解していません。住所もひとつの方法ですが、被災時にはどうしても「区」単位で行うことが多く想定されますので、多くの方に行政区を覚えてもらうことを検討します。 市職員の訓練参加については、訓練が毎年行われることから、最低でも在籍中に1回は参加するよう各課に働きかけたいと思います。さらに、また、1課から複数人の参加につきましては、参加していただける課があるのならお願いしたいと思います。	・訓練内容の見直しにより、健康推進課、地域活力創出課から複数の職員に参加していただきました。
155	・実際に、災害が発生した際には、協力して頂ける地域住民と対応すると思うので、実際に参加してもらった人たちにも呼びかけ、訓練に参加してもらおうとより実践的なものになると思いました。	・総合防災訓練の事前協議において避難してきた方も巻き込んで避難所運営をしていただきたい旨は伝えていましたが、いざ始めるとなかなか難しいみたいです。今後はどのように巻き込んでいくかを自主防災組織と一緒に検討したいと思います。	・各班の活動で人員が不足する場合、避難者へ協力依頼をするよう、事前説明会で部長、各班長へ依頼しましたが、初めて顔を合わせる方には声を掛けにくかったようです。負傷者役には5名協力いただきました。
156	・食料班となり、300人近くの食料を用意することは、とても大変であると実感しました。災害時には、それよりも多くの人が避難所に集まると想定されるため、避難者と話し合いながら対応する必要があると思いました。	・今回は訓練のため、提供する食事もアルファ米（おにぎり含む）だけでしたが、被災した場合には本当に大掛かりな炊出しも行う必要があります。そのことから、避難した人に協力してもらいながら避難所運営をする必要がありますので、訓練時から流れを構築できるよう検討します。	・今回もアルファ米を中心とした炊出しを行いました。次年度の炊出しについては、自衛隊や災害ボランティアによる炊出しを検討します。
157	・他の班で行っていたかもしれないが、避難者が避難してきた後の対応を行う訓練が必要だと思う。（避難所をスペース割し、実際に分かれてみるなど）	・今回の訓練は避難所開設訓練でしたので、避難した後は、地区のブースに分かれてもらいました。今後スペース割も訓練に取り入れたいと考えていますが、自主防災組織の考え方として今回の地区別のブースが地区別のスペースになると思われます。被災時には地区は関係ないと思いますので、その点は今後自主防災組織に説明していきたいと考えます。	・地区別のブースとしました。事前に打ち合わせができていたので、地区別のブースが作れましたが、被災時には地区がバラバラになることが想定されますので、次回の訓練で地区別のブースをどうするか検討したいと思います。
158	・避難者の受付をした後、名簿に記載されている人と本人がわからなくなり、その後の円滑な避難所運営ができなくなると思われるため、名簿作成の際に付番した番号の札を渡すなど、個人を特定しやすくする必要があると思った。	・来年度の事前協議において自主防災組織に検討してもらいます。	・受付で避難者名簿、避難者カードの記載が適切に行われ、地区別の参加人員、参加総数が確認できましたが、個人を特定するための番号札等を渡す事はできませんでした。
159	・全て準備通り行う訓練ではなく、実際の災害時を想定し、現場がイレギュラーに対応しながら行う今回のような訓練が必要だと思います。	・昨年度から今回実施した訓練の方式を取り入れています。色々問題点もありますが、被災時には自主防災組織の早期の対応が人命に関わってくるとしますので、今後も継続して実施すると同時にもっと内容を充実させていきたいと思います。	・自分たちで避難所の立上げ、運営を行う事をコンセプトに、今回は外部機関との連携を取り入れた訓練内容としました。
160	・参加人数が多い地域もあれば参加人数が0人の地域もあるなど、地域によって防災意識に差があると感じ、より多くの人に地域防災への関心をもってもらう必要があると思いました。 初めて一般避難所の訓練に参加しましたが、市職員ではなく地域の役員が主導で訓練を行っているところに地域の意識の高さを感じました。避難してくる一般市民の方にも、避難所に行けばなんでもしてもらえるのではなく避難者がお互いに助け合って自分たちで運営していく場所だということを強調し、そのような意識を植え付けていくことが重要だと思いました。	・今回は、避難所開設訓練として自主防災組織の役員の方に動きを覚えていただくことを主としていましたので、参加人数については本部役員を含めて地区別人口から事前に割り振りました。結果的に人口が少ない地区は役員のみとなったため避難者がいない結果となりました。来年度から人口が少ない地区についても一定数の避難者が参加できるように配慮したいと思います。 また、避難してきた人に自分たちも一緒に運営する場所として認識してもらうことは大切なことだと思います。来年度の訓練からその事をきちんと避難者に説明できる時間を設けようと思います。	・避難所開設訓練として自主防災組織の役員のが自分たちで避難所を立上げ、運営するための動きを覚えていただくことを主としていましたので、参加人数については本部役員を含めて地区別人口から事前に割り振りました。 次回訓練では、見学のみの参加についても検討します。
161	・今回のような訓練、同じような訓練が必要だと思います。	・来年度以降も避難所開設訓練は実施したいと思います。	・避難所開設訓練を軸に訓練内容の見直しを行い、より実戦に近い訓練としました。
162	・南海トラフに対して、もっと防災意識を持っておかなければならないのですが、依然他人事として捉えがちなので、今回のような、地域の方と一緒にする防災訓練は、定期的に行っていくべきだと痛感しました。	・今後も総合防災計画は実施していきますが、各自主防災組織が集会所で今回と同じ避難所開設訓練を行うことで、総合防災訓練での避難所開設訓練がスムーズになると思います。	－